

令和3年度児童発達支援・放課後等デイサービス 事業所自己評価及びアンケート結果対比表

	事業所評価			チェック項目	利用者評価
	はい (33%)	どちらとも (50%)	いいえ (33%)		
環境面	はい (33%)	どちらとも (50%)	いいえ (33%)	①子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	はい (100%)
	はい (50%)	どちらとも (50%)		②職員の配置数や専門性は適切か	はい (100%)
	はい (67%)		33%	③事業所の設備等はスロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	はい (100%)
適切な支援の提供	はい (67%)	33%		④子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で個別支援計画が作成されているか	はい (100%)
	はい (100%)			⑤活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	はい (100%)
連携	はい (67%)		いいえ (33%)	⑥放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	はい (33%) どちらとも (67%)
説明責任	はい (100%)			⑦支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	はい (100%)
	はい (100%)			⑧日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解が出来ているか	はい (100%)
	はい (67%)	33%		⑨保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	はい (100%)
	はい (33%)	どちらとも (33%)	33%	⑩父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催により保護者同士の連携が支援されているか	どちらとも (100%)
	はい (67%)	33%		⑪子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	はい (100%)
	はい (67%)	33%		⑫子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	はい (100%)
	はい (100%)			⑬定期的に会報やホームページ等で活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を発信しているか	はい (100%)
	はい (100%)			⑭個人情報に十分注意しているか	はい (100%)
非常時の対応	はい (67%)	33%		⑮緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	はい (100%)
	はい (33%)	どちらともいえない (67%)		⑯非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	はい (100%)
その他				⑰子どもは通所を楽しみにしているか	はい (100%)
				⑱事業所の支援に満足しているか	はい (100%)

※無回答はどちらともいえないで集計

ご意見  
・特になし

▶上記アンケートに対する意見（保護者）

・特になし

▶上記アンケートに対する意見（スタッフ）

- ①に対する意見…密になるときがある、放課後デイや長期休業中の時などの活動スペースの確保
- ③に対する意見…トイレの改修
- ⑥に対する意見…コロナの影響で、出来なかったと思う
- ⑨に対する意見…研修などで共通理解

### 自己評価とアンケートについて

支援の提供、共通理解については概ねポジティブな意見で一致していた。また、保護者同士の連携の支援、地域との交流についてはネガティブな意見で一致していた。

また、非常時の対応については、「どちらともいえない」・「いいえ」という意見が多かった。

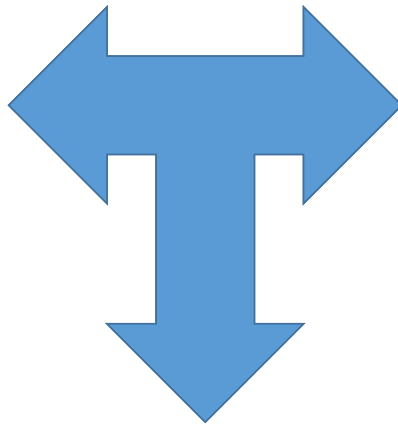
相違点  
自己評価としては、個別支援計画の作成、自己評価の発信について不足があるとしていた。

アンケートでは、活動のスペース、非常時の対応、について不足があるとしていた。

環境面に関しては相違が大きかった。

### 事業所の強みと改善点

職員の配置数は充実しており、利用者に対する個別の支援の提供や、保護者間、スタッフ間の共通理解はおおむね個人に合わせた支援が出来ていると思われます。



・今年も引き続き、コロナの影響で保護者同士の連携支援、利用者の地域との関わりは少なくなってしまうことがアンケートに反映されていると思われます。  
・非常時の対策などは年に一度避難訓練を実施はしているが、開催する回数など再度検討が必要である。緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明については、説明が不十分になってしまっているようです。  
・施設内のスペースの確保に関しては、子どもたちが広々と使い遊べるように、室内を広く使えるよう検討していきます。

### 改善に向けた取り組み

今年度も引き続き、感染症の流行にて外部との交流の機会や保護者会の実施など行えなかったことがアンケートの結果に繋がってしまったと考えております。今後の取り組みとしましては感染防止に勤めながら、保護者間、外部との交流が少しずつできるよう取り組んでいきます。

感染が落ち着いてきたら保護者会の開催等も検討していきます。

引き続き子供たちの経験の幅の広がりにつながるよう、多職種による関わりにて必要な支援の提供が安全に行えるよう整備を図っていきます。